

# 平成 26 年度 参加と協働市民フォーラム実施報告



平成 27 年 3 月

粕江市市民参加と市民協働に関する審議会

粕江市



## 目的

狛江市の市民参加と市民協働を推進し、かつ、市民参加・協働の意義を理解することにより一層の市民参加・協働を促進させ、延いては市民参加・協働を礎（いしずえ）に狛江市民間のコミュニケーションと狛江の魅力アップに資することを期待し市民フォーラムを開催する。

## フォーラムテーマ

「市民参加で狛江力アップ！」～市民の力で狛江の魅力を探ろう～

## 主催/企画運営

狛江市／狛江市市民参加と市民協働に関する審議会

## 日時・場所

平成 27 年 1 月 24 日（土）  
午後 2 時～4 時 15 分  
狛江市防災センター 4 階会議室

## 出席者数

- ・一般参加者：12 人
  - ・活動報告者：10 人（狛江GAP研究会・コマエンジェル・音楽の街－狛江・ダブルダッチ部の皆さん）
  - ・審議会委員：9 人（うち 1 人は事例報告者を兼ねる）
  - ・市事務局：3 人
- 計 33 人

## 当日の流れ

- ・開会あいさつ 14 時～  
フォーラム実行委員会 座長 内海 貴美
- ・活動報告（報告順） 14 時 5 分～  
谷田部 正美さん（狛江GAP研究会）  
平 美和さん（コマエンジェル）  
榊原 徹さん（音楽の街－狛江）  
ダブルダッチ部の皆さん（狛江市立狛江第二中学校）
- ・意見交換 15 時～
- ・閉会あいさつ 16 時 10 分～  
狛江市市民参加と市民協働に関する審議会 会長 石田 寿彦

◆谷田部 正美さん  
(狛江GAP研究会)



狛江市の農家が集まり、市民の皆さんに新鮮で安全な野菜を供給するために頑張っている。

農産物の販売については、原則「農協」を通して販売しており、独自の流通販売体制を作るのは難しいが、生産者の顔の見える農産物を目指し、スーパーへの出荷も増えつつある。小規模経営の農家が多いため、農業だけでは採算が取れない。会員の拡大を目指したいが、自主的な活動が多いため高齢者には難しい。これからもできるだけ市民に新鮮で安全な野菜を届けていきたい。

・ 狛江の農業の現状 (平成 26 年)

農地: 40 万㎡ (市総面積 639 万㎡ の約 6 %。東京ドーム 1 個分の農地が昨年 1 年間で消滅)

農家: 1000 ㎡以上の農地を有する農家 116 軒 (300 人。市人口 79,000 人の約 0.3% が従事)

生産: 総売上額 2 億円/年間

品目: 40~50 品目。主にトマト、枝豆、ブロッコリー、ネギ、大根、ナス、ニンジンなど。

・ 安全な野菜とは

中国の農業は未承認が多いが、日本は基準が厳しく、0.01ppm 以上 (学校のプールに一滴程度) の残留も認められない。消費者は、虫が喰ったり曲がった野菜は好まないため、必要最小限の農薬の使用が必要となる。

・ GAP 手法による新たな農業管理の導入と狛江ブランド野菜の生産

中国などの野菜の生産における農薬使用で注目されている農業管理システムで、農薬の生産過程における使用履歴を管理し、この結果を値札に記載、公表する。

・ GAP 導入のメリット

一目で分かる農産物の安全性の向上、効率的な農業生産活動の推進、品質の向上、情報の交流。

◆平 美和さん  
(コマエンジェル)



狛江市に住む 30 代から 40 代の主婦で構成されており、自分を表現するというよりは、何かメッセージを発信する存在であろうと活動している。

コマレンジャーとともに、地元商店街のアピールや、エコキャップ運動、ゴミ分別推奨、成人式などのショーを行ってきた。独特のパフォーマンススタイルから、各方面のメディアにも紹介してもらっている。2月21日には、西河原公民館でパフォー

マンスを計画中。

この活動は、育児まっただ中の主婦の皆さんが入りやすい体制で活動しており、会費も少なく、子連れもOK。子



供が生まれて自分のやりたい事ができない、子供がいるからという理由でやりたいことを諦めざるを得ない主婦の皆さんに、まだまだやれるんだということを発信している。

私たちの目標は、狛江市内外の主婦層を元気にする事。女性が元気な町には活力があるので、女性がやりたいことを思い切ってやることができるよう、そして狛江市の女性の強さ、面白さを日本に発信できるよう私たちが先陣を切ってアピールしていきたい。

#### ◆榊原 徹さん (音楽の街—狛江)



駅のホームで狛江市の歌を流すことを40年前から始めた。元曲が親しみやすかったので長く続いた。市民の皆さんに親んでもらい、もっと学校行事に音楽を活用したい。

当初は、音楽連盟のような愛好家を中心とした活動を続けてきたが、段々に市民全体に受け入れられてきた。邦楽まで加えれば色々なジャンルの音楽があり、色々な楽器が使われている。あまり費用をかけずに、なるべく多くの機会(演奏活動)を作っていくことを市の担当とも話し合っている。

・音楽に根差した10人の委員で平成18年にスタート。平成19年から7年間、様々な活動を開始した。

・平成19年から駅前ライブ始動。ロビーコンサート(2回/年)、学校訪問(6回/年)、文化フェスティバル(1回/年)、特別支援学級との交流(平成26年度緑野小・えのき学級、平成27年度一小・いずみ学級)と、年間30近い公演を行っている。

・現在、市内の小・中学校の校歌の収録に取り組んでいる。



#### ◆ダブルダッチ部の皆さん (狛江市立狛江第二中学校)



最初は十数名で始まった。各々が違った役割を持ちながら色々な演技を見せる団体のゲームなので、チーム全員の仲が良くないと良い演技ができない。チームをどうやって作っていくかいつも考えている。ミスをしなくてできると楽しい。

最近では、小学校(三小、六小、その他神奈川県)でも教えているのでみんな強くなってきており、優勝を目指して頑張っていきたい。

#### <実演>



## 意見交換

- ・GAP野菜は、マインズショップ狛江、小田急OX、京王ストアなどで限定販売していて、フォーラム参加者の半数は、GAPについて知っていたが、フォーラムに参加してくれた中学生には知られていないことが判った。もっと狛江の地元野菜を広めるためにその存在をアピールしてはどうか。その一環として、例えばコマエンジェルとのコラボもいいかも（後述のコマエンジェルでの意見交換参照）。
- ・学校給食にGAP野菜を入れたらどうか。GAP野菜を学校給食に入れるには、規模が小さく、需要をまかなえるかが問題で今のところ採用されていないが、今後働きかけたい。
- ・農業をする上で苦勞することは、ゲリラ豪雨で、まいた種が一夜で流されてしまうなど天候に生産が左右されることや、規模が小さく、生計に十分な所得が得られないこと、などである。
- ・コマエンジェルのメンバーは、主婦に限っておらずキッズチームを編成することもある。最近ブレイクダンスのメンバーにもゲスト参加してもらっている。
- ・（中学生から）「狛江の主婦、やべえ・・・。何食ってんの？ すごいもの食ってんじゃない？」と聞かれるとの報告でしたが、コマエンジェルの皆さんは何を食べているのですか？ GAP野菜など、質素なものを食べています・・・(笑)。と言う訳で、コマエンジェルとGAP団体と協力し合うところもあるのでは。
- ・コマエンジェルの今後の活動としては、2月21日にイベント西河原に出演予定で、100以上のパフォーマーが参加する千歳鳥山のイベントで披露したプログラムと同じものを行う予定。自虐的でも良いので、何かの媒体として活動していきたい。顔や演技では無く、言葉などのメッセージを発していきたい。



- ・音楽の街－狛江の活動を広げる一環として他の活動団体、例えば、コマエンジェルとお互いに協力しながらさらに素晴らしい団体を目指すことなどが考えられる。
- ・音楽の街－狛江が目指すのは、単にコーラスや楽器を活用した活動だけにとどまるのではなく、音楽教育のあり方、音楽と日常生活、文化のあり方等、幅広い視点からの活動を考えて行くことが肝要と

考えている。狛江から音楽を発信することで狛江の文化力となり、狛江の力となる。

- ・活動の大半は、ボランティアがベースとなっており、その結果、それぞれの分野でいろいろな負担をお願いしているのが実情である。

- ・音楽の街―狛江の活動を広げるとともに、狛江市の道路安全活動、自転車のマナー改善のアピール、多摩川、野川の川堤道路の保守管理、自然環境を生かしたわんぱく駅伝など、地域の皆さんのコミュニケーションと活性化のために、グループ活動の輪を広げていく提案をしていきたい。
  - ・音楽の街―狛江の活動を広げる一環として他の活動団体、例えば、コマエンジェルとお互いに協力しながらさらに素晴らしい団体を目指すことなどが考えられる。
  - ・音楽の街―狛江が目指すのは、単にコーラスや楽器を活用した活動だけにとどまるのではなく、音楽教育のあり方、音楽と日常生活、文化のあり方等、幅広い視点からの活動を考へて行くことが肝要と考えている。狛江から音楽を発信することで狛江の文化力となり、狛江の力となる。
  - ・活動の大半は、ボランティアがベースとなっており、その結果、それぞれの分野でいろいろな負担をお願いしているのが実情である。
  - ・音楽の街―狛江の活動を広げるとともに、狛江市の道路安全活動、自転車のマナー改善のアピール、多摩川、野川の川堤道路の保守管理、自然環境を生かしたわんぱく駅伝など、地域の皆さんのコミュニケーションと活性化のために、グループ活動の輪を広げていく提案をしていきたい。
  - ・ダブルダッチ創部のきっかけは、顧問の先生の子どもがダブルダッチの経験者で指導を引き受けてくれたことから。ダブルダッチは、仲良くないとできない。相手を思いやる気持ちと観ている人を楽しませる気持ちが大切。
  - ・ダブルダッチ部の全国優勝の後、世界大会（アメリカ）への参加費をめぐる議論があった。学校のクラブ活動でのチームのため大会に参加する費用や、海外での活動費用など、様々な費用が個人負担となってしまう。市の援助は、他のスポーツへの援助とかけ離れたものとはできないので市民の寄付を募ることも考えたが、最終的には保護者負担となった。しかしやはり海外での活動となると保護者の金銭的負担が大きすぎる。
  - ・市全体に広めるには、お金と指導者が必要となり、難しい問題がある。しかし将来は是非オリンピックにも関わりたいという希望がある。
  - ・ダブルダッチを始めたい子供達は、狛江第二中以外にもある。二中以外の子供でダブルダッチを始めたい子供も二中で受け入れてもらえるとは有り難い。
  - ・ダブルダッチを小学校でも出来る体制になるとよいが・・・。
- 現在では、小学校でもチームを作っている。小・中学と経験することで、高い効果が得られる。継続することが大事。・オリンピック・世界への飛躍を目指すには、他の学校への普及・コーチの育成、市や国の援助体制なども変えていく事が必要となる。



## アンケート集計結果

### <性別>

◇男性：3人      ◇女性：3人

### <年齢>

◇20歳未満：0人      ◇20代：0人      ◇30代：1人      ◇40代：3人  
◇50代：0人      ◇60代：2人      ◇70代：0人      ◇80歳以上：0人

### <職業>

◇生徒・学生：0人      ◇会社員：2人      ◇自営業：0人  
◇公務員：1人      ◇主婦：3人      ◇その他：0人

### <本日のフォーラムに参加してどうでしたか>

◇満足だった：5人      ◇どちらともいえない：1人      ◇満足とはいえない：0人

### <この事業を何で知りましたか>

◇広報こまえ：0人      ◇狛江市ホームページ：3人      ◇ポスター：0人  
◇知り合いに誘われた：3人      ◇チラシ：0人      ◇その他：0人

### <興味のある市民活動分野>

◇防災・災害支援：2人      ◇障がい者支援：2人      ◇子育て：4人  
◇青少年：2人      ◇環境・自然：2人      ◇スポーツ：1人  
◇学習・学び：3人      ◇文化・芸術・音楽：3人      ◇地域活動：3人  
◇その他：0人

### <自由記述>

◇狛江でわりと知られている団体の話を聞いたのは、大変収穫でした。ただ、これが少人数だったのがとても残念だと思います。もっと開催自体を上手にアピールし、多くの市民が知る機会に出会えたらよいと思います。

◇新しい様々な分野で活動なさっている市民グループの活動を知って頼もしく思いました。狛江愛にあふれた楽しい会でしたが、一般の参加者が少なくて残念でした。委員の皆様お疲れ様でした。



## 狛江 GAP 研究会

代表者氏名	谷田部 正美	活動年数	平成 26 年 4 月 30 日設立
-------	--------	------	--------------------

### 主な活動内容・実績

狛江ブランド野菜として平成 26 年 6 月 15 日から農産物の販売開始。マインズショップや小田急 OX、いなげや等のスーパーマーケット、市民祭りや市役所広場での野菜即売会。平成 26 年いかだレースでの枝豆ビアガーデンの開催等。

### 活動を始めた経緯

国内外様々な食に関する問題が起こり、食の安全をどのように発信していくかが生産者にとって重要な取り組みになってきています。そこで、狛江市の地域振興計画による農産物の地域ブランド野菜の確立及びマインズ農協の地域振興計画(GAP の導入検討)をもとに、各団体の協力により、市内農家 18 軒 21 人が参加し、GAP による適切な管理によって農産物の安全性を高め、地域ブランド野菜として確立させるために活動を始めました。

狛江版 GAP として、狛江の実情に合った 21 項目の工程を毎月チェックし、食の安全を「見える化」することで、消費者の安全の根拠となるよう取り組んでいます。

<GAP (Good Agricultural Practice) : 農業生産工程管理>生産から出荷までの各工程において、正確な実施、記録、点検及び評価を行い、基準値以上の農薬残留などのリスクを低減する適切な管理を行う。

### 活動を通じて感じる事や課題

安心安全を消費者の皆さんに目に見えるようにし信頼を得ることが大変難しい。

## コマエンジェル

代表者氏名	平 美和	活動年数	平成 18 年みんなの狛江夏まつりで狛江デビュー
-------	------	------	--------------------------

### 主な活動内容・実績

初期はコマレンジャーとともに、成人式や市民祭り等でエコキャップ推進等のショーなどを多く行う。メンバーは、主に狛江市在住の 30~40 代の主婦 10 名。

平成 22 年 TBS「あらびき団」キュートン甲子園優勝、NHK ドキュメント 20min.「女道~20 代女子、アラフォーに学ぶ~」放映。平成 23 年 TBS「はなまるマーケット」サークル紹介、「薔薇の雫」CM 出演。平成 24 年コマエンジェルをモデルとした小説「RE BEAT~リ・ピート」刊行。平成 25 年千歳鳥山で行われた「ちとからパフォーマンスカーニバル」審査員特別賞受賞。平成 26 年 11 月ストリートダンス協会加入。平成 27 年 2 月 21 日いべんと西河原にて公演。来年は 10 周年になるので、記念公演を計画中。

### 活動を始めた経緯

平成 17 年末に、リーダー平美和個人プロデュースで行った子供向けクリスマスショーに、出演者として集まった主婦が現在のコマエンジェルとなる。地域や周りの環境のために何か活動をしたいと思い、精力的に活動していたコマレンジャーに打診し、仲間として活動を開始しました。

### 活動を通じて感じる事や課題

「野外はパフォーマンスの原点」であることを、この活動で学びました。活動を発表したくても、なかなかチャンスの無い若いグループ達らが沢山埋もれています。公の野外の場所をもっと有効活用し、狛江の眠る才能を発掘して狛江のダンス、パフォーマンス文化の輪を広げ、文化の聖地になっていけたらいいと思います。

## 音楽の街-狛江

代表者氏名	榊原 徹	活動年数	狛江での市民協働等の活動は平成 18 年から
主な活動内容・実績			
音楽による街づくりを目指した音楽の街-狛江活動として、平成 19 年から活動を開始した音楽の街-狛江実行委員会を経て、平成 24 年度より（一財）狛江市文化振興事業団内の音楽の街-狛江 エコルマ企画委員会へと発展。現在、プロ音楽家、音楽愛好家による 13 名の委員会となる。			
活動を始めた経緯			
市制としての音楽による街づくり構想を基礎に、市内音楽家、音楽愛好家の協力姿勢ができたことから、机上会議団体から演奏と活動団体へと発展した。			
活動を通じて感じる事や課題			
当初は、音楽による街づくりを考える上で、現状の問題点や、狛江市の文化進行状況を把握する会であったが、“音楽の街-狛江”というキーワードを通じて活動する事が必要となり現在に至った。安定的な活動と次世代の人材確保まで見据えた活動が必要となっている。文化事業、芸術創造は、目に見える結果が少ないことから予算的な足かせも多く、ボランティアを基本とした委員に相当の負担を与えている事も確かである。市政方針、市財政とのバランスが最重要ではあるが、この活動を通じて文化芸術面の寄与は相応の結果が出ている事を鑑みて、安定的な活動と次世代の人材確保まで見据えた活動が必要となっている。			
音楽による街づくりは、現在では 30 に及ぶ大小の事業を遂行している。心の中の音楽や日常と音楽の関係性、音楽教育のあり方、また音楽文化の保護にまで活動は及んでいる。			

## 狛江第二中学校ダブルダッチ部

代表者氏名	吉田 泰子	活動年数	平成 22 年 4 月より活動。創部 5 年目
主な活動内容・実績			
部員は初年度 14 名、現在 39 名。学校の文化発表会で演技するほか、市民祭りや中高生フェスティバルなど地域のイベントに参加する。			
また、大会（デライトキッズやコンテスト）や試合（ジャパンオープン）に挑戦。			
デライトキッズでは、平成 22 年度 3 位、23～25 年度 3 年連続優勝、26 年度 3 位。			
コンテストでは、中高生の部で昨年 3 月 2 位。			
ジャパンオープンでは、中学生の部優勝。NDDL アメリカ大会出場 3 回、ADDL アメリカ大会優勝(平成 26 年 6 月)			
活動を通じて感じる事や課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中体連に所属していないため、お金の補助が受けられないこと。</li> <li>・指導者が必要だが、依頼するための指導料の面で悩みが多い。</li> <li>・チームプレーなので、同じ気持ち・目標・技術の人が組まないとうまくいかない競技である。</li> </ul>			
狛江市のダブルダッチ部は有名になりました。ぜひ、今後もこのスポーツが定着できるように、周りの方や市の方に協力をいただきながら、よく考えて活動していきたいと思ひます。			
今後も、学校や地域のイベントに参加し、大会に向けて更に目標を高く持ち、活動していきたいと思ひます。			

